

『宮沢賢治の歌』

平成二十四年六月七日に熊谷短歌会文学散歩に参加しました。その中に『宮沢賢治の歌碑』訪ねるコースがあつて、解説のパンフレットが配られました。その抜粋ですが、賢治が若い頃に熊谷を訪れ、短歌を残していたことを知りました。

一 略歴

- ・ 明治二十九年（一八九六年）岩手県花巻市に生まれる。詩人・童話作家
- ・ 生前刊行は『春と修羅』と短編童話集『注文の多い料理店』（一九二四年）のみ
- ・ 死後発見された遺作のメモ『雨ニモマケズ』、遺作童話『銀河鉄道の夜』『風の又三郎』
- ・ 短歌は、石川啄木の影響を強くうける。
- ・ 短歌は明治四四年（一九一一）から大正十年（一九二一）の十年間足らず。
- ・ それ以降は、本格的に詩や童話へ転向。
- ・ 昭和八年（一九三三）に急性肺炎で死去した。享年三十七歳。
- ・ 死後、昭和二十一年（一九四六）に『宮沢賢治歌集』が、日本書院から発行された。

二 熊谷市近郊の歌

- ・ 大正五年（一九一六）九月二日
午前中帝室博物館を見学した後、秩父地方の土質・地質調査見学の盛岡高等農林学校二年生一行二三人と上野駅で合流して、上野発一時二〇分発の列車に乗車、熊谷駅一三時一三分に到着した。

・ 熊谷寺（熊谷次郎直実・蓮生坊）を訪れて

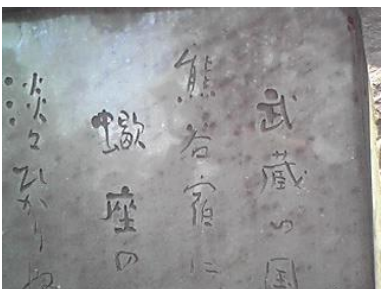
□ 熊谷の蓮生坊がたてし碑の旅ははるばると泪あふれぬ

・ 宵闇の頃、西空に沈もうとする蠍座をみて

□ 武蔵の国熊谷宿に蠍座の淡々と光りぬ九月の二日

・ 賢治一行は、熊谷の「松坂屋」に一泊した。

八木橋百貨店前の歌碑



- 大正五年九月三日、秩父鉄道で寄居に向かう。立ヶ瀬断層、象の鼻などを観察。
毛虫焼くまひるの火立つこれやこの 秩父寄居のましろきそらに

寄居町荒川河畔の歌碑

- 荒川に沿って、末野の石切り場、長瀬の「虎岩」などを観察。
つくづくと「粹な模様の博多帯」荒川ぎしの片岩のいろ

寄居町荒川河畔の歌碑



- 山峡の 町の土蔵のうすうすと 夕もやに暮れ われらもだせり

小鹿野町役場前の歌碑

・国神の宿「梅乃屋」に宿泊。
・大正五年九月四日。早朝、馬車三台に分乗して小鹿野町に向かう。いったん小鹿野町の旅館「本陣寿旅館」に荷物を置いて、泉田にある地層の露頭「ようばけ」観察。

- 夕暮れ頃、旅館への帰途、次の歌を詠み同旅館に宿泊。
さわやかに 半月かかる 薄明の 秩父の峡のかえりみちかな

小鹿野町おがの化石館脇の歌碑

※ 今度、賢治の歌碑を訪ねて秩父路をドライブしたいと思っています。

・大正五年九月五日。小鹿野から途中馬車も利用して三峰に向かう。

- 夜は三峰神社宿坊に宿泊。星月夜であったが雷もあった。
- 鳳仙花 実をはじきつつ行きたれど 峡の流れの碧くかなしも
- 星あまり むらがるゆゑ みつみねの そらはあやしくおもはゆるかも
- ほしの夜を いなびかりする三みねの 山にひとりしなくか こほろぎ

三 賢治の歌集より

- ・明治四四年（十六歳）前年、盛岡中学に入学。寄宿舎に入る。
- 中尊寺 青葉に曇る夕暮れの そらふるわして青き鐘鳴る
- あすの朝は夜あけぬまへに発つわれなり母は鳥の骨など煮てあり
- 鉛筆のこなによごれしてのひらとギリシヤ文字とを風が吹くなり
- ・大正三年（十九歳）盛岡中学校卒業。蓄膿症手術。発疹チフスで発熱。
- 地平線 かがやきの紺もいかにせん 透明薔薇の身熱より来しなれば
- 粘膜の 赤きぼろきれ のどにぶらさがり かなしきいさかいを 父とまたする
- ・藤村操「巖頭之感」を賢治が読んで詠った歌のようだ。
- 何となれ この岸壁の舌の上に立たざる なんじ 何とて立たざる
- ・大正四年（二〇歳）盛岡高等農林学校に主席入学。自啓寮に入る。
- をちやまに 雪かがやくを雲脚の 七つ森にはおきな草咲く
- ・大正五年、秩父地方の土性・地質調査
- 東京の 光のカスにわかれんと ふりかえりみて またいらだてり
- ・大正六年
- ベムベロはよき名ならずや ベムベロの みじかき銀の毛はうすびかり
- 柏ばら ほのほたたえるたいまつを ふたりかたみに 吹きてありけり
- 香たきて ちちはは来るを待てる間に はやうすあかりそらをこめたり
- ・大正九年（二五歳）盛岡高等農林学校得業、引き続き研究生。
- ニツケルの 雲のましたに いらだちて しらしら燃ゆる アーク燈あり
- ・大正九年（二五歳）盛岡高等農林学校研究科を修業
- 雲焼けの からたち坂を ほこらかに 油瓶もて おりくる児あり
- 天雲 わめきの中に湧きいでて いらだち燃ゆる サイプレスかも
- ・大正十年（二六歳）盛岡高等農林学校研究科を修業
- 五十鈴川 水かさましてあらぶれの人のこころもきよめたまはん

※ 賢治は、僅か十年位の間に多くの歌を残しているのはさすがに才に恵まれているからですね。